

～お年玉に関する意識調査～

お年玉の平均支出予定総額は 28,362 円**前年の調査結果よりも 718 円増加**

住信 SBI ネット銀行株式会社（URL：<http://www.netbk.co.jp/>、本社：東京都港区、代表取締役社長 円山 法昭、以下「住信 SBI ネット銀行」という）は、住信 SBI ネット銀行の口座を保有する全国のお客さまに「お年玉に関する調査」を実施し、1,480 人より回答をいただきました。

***** アンケート結果概要 *****

■ 「お年玉をあげる予定がある」と回答した割合は引き続き減少

「お年玉をあげる予定がある」と答えたかたは「**66.0%**」と、前々年調査結果（69.6%）、前年調査結果（67.1%）から減少傾向が続いています。

■ あげる人数の減少に起因し、お年玉の支出総額が「減る」とした割合は上昇

お年玉の支出総額が減ると答えたかたは「**5.0%**」と、前年の調査結果（3.8%）に比べ「**1.2%**」増加しました。理由として「あげる人数が減ったから」が「**85.7%（前年比 14.9%増）**」と最も多く、「節約したい、または貯蓄にまわしたいから」は「**6.1%（前年比 4.3%減）**」、「収入（ボーナスなどを含め）が減ったから」は「**4.1%（前年比 8.4%減）**」でした。

■ お年玉の支出総額は「28,362 円」と、前年の調査結果よりも「718 円」増加

今冬あげるお年玉の平均支出予定総額は「**28,362 円**」となり、前年の調査結果（27,644 円）から「**718 円**」増加する結果となりました。年代別に見ると、50 代で前年比 14.1%減少するなど複数の世代で減少傾向がみられる中、60 代は「35,400 円」と前年の調査結果（28,564 円）と比べ 23.9%増加しました。

<総括>

本年の調査では、「お年玉をあげる予定がある」割合が前年に続き減少したことに加え、「お年玉の支出総額が減るとした割合」が前年より高まる結果となりました。支出総額が減る理由として、大半が「あげる人数が減ったから」と回答している一方で、前年と比べ「収入（ボーナスなどを含め）が減ったから」とした割合は 8.4%減少、「節約したい、または貯蓄にまわしたいから」は 4.3%減少していることから、金銭的な理由と「お年玉の支出総額」の関連度合いがやや低下していることが窺えます。

支出総額の平均を見ると、20 代～30 代で微減、50 代で 14.1%（4,944 円）減少したものの、60 代では前回と比べ 23.9%（6,836 円）増加したことから、全体としては前年と比べ 718 円増加の 28,362 円となりました。

《アンケート調査概要》

調査期間：平成 28 年 12 月 9 日～12 月 14 日

調査対象：住信 SBI ネット銀行の個人顧客

回答者数：1,480 名

(内訳 20代：166人 30代：228人 40代：237人 50代：406人 60代：443人)

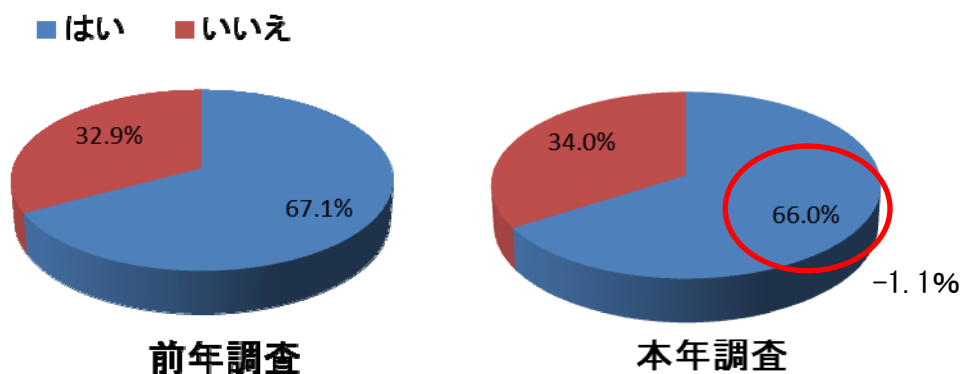
調査方法：インターネットアンケート

調査地域：全国

《アンケート結果》

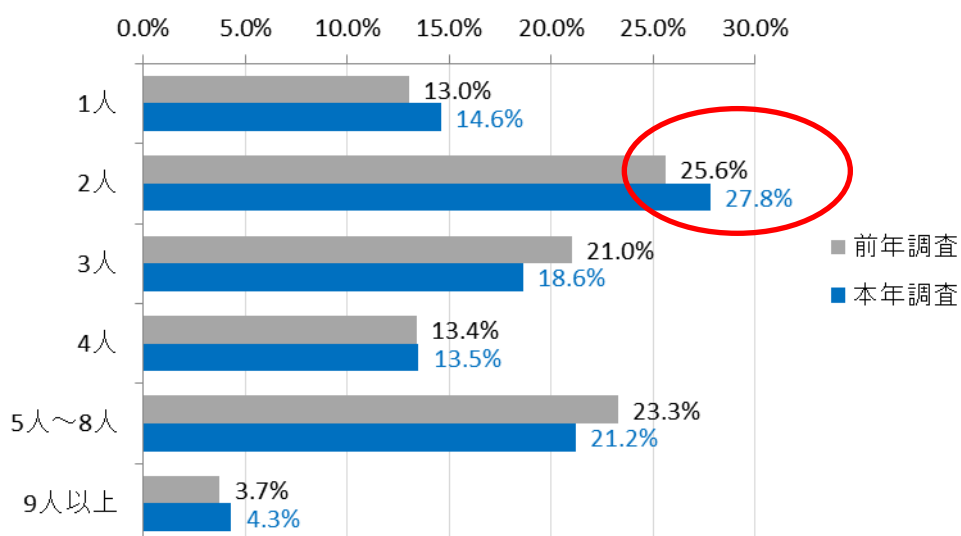
◆誰かにお年玉をあげる予定はありますか？

前年調査に比べ「あげる」予定がある人は 1.1%減少しました。



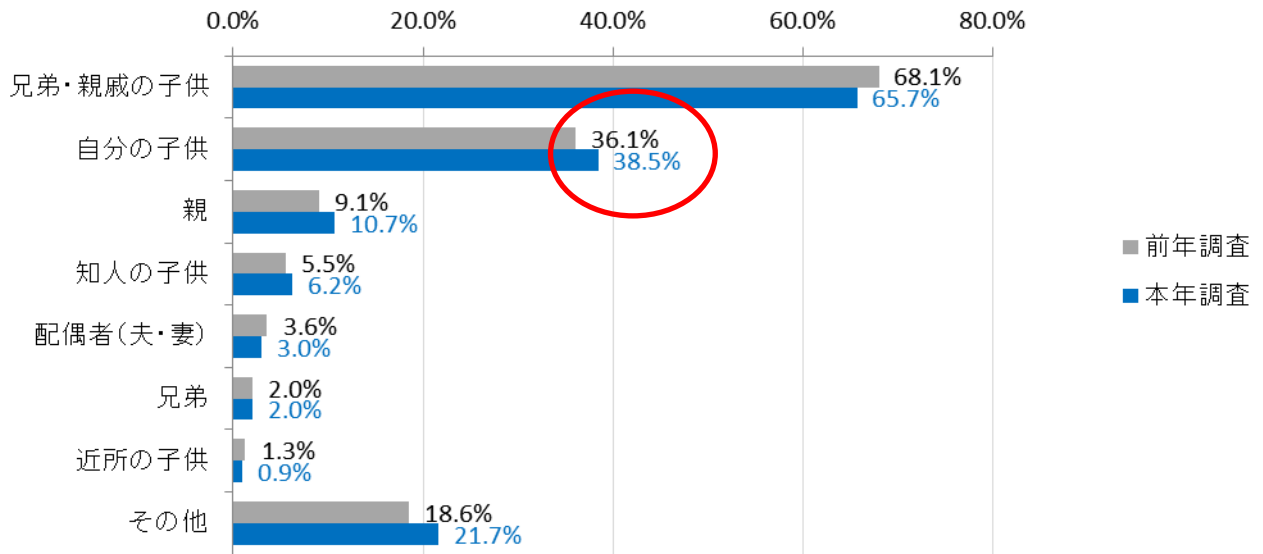
◆何人にお年玉をあげる予定ですか？

「2人」が最も多く 27.8%で、前年調査より 2.2%増加しました。



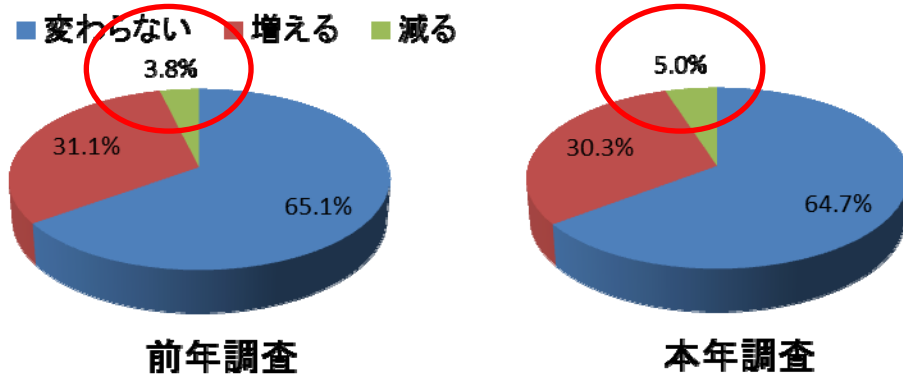
◆誰にあげる予定ですか？（複数回答）

65.7%が「兄弟・親戚の子供」に、38.5%が「自分の子供」にあげる予定と回答しました。



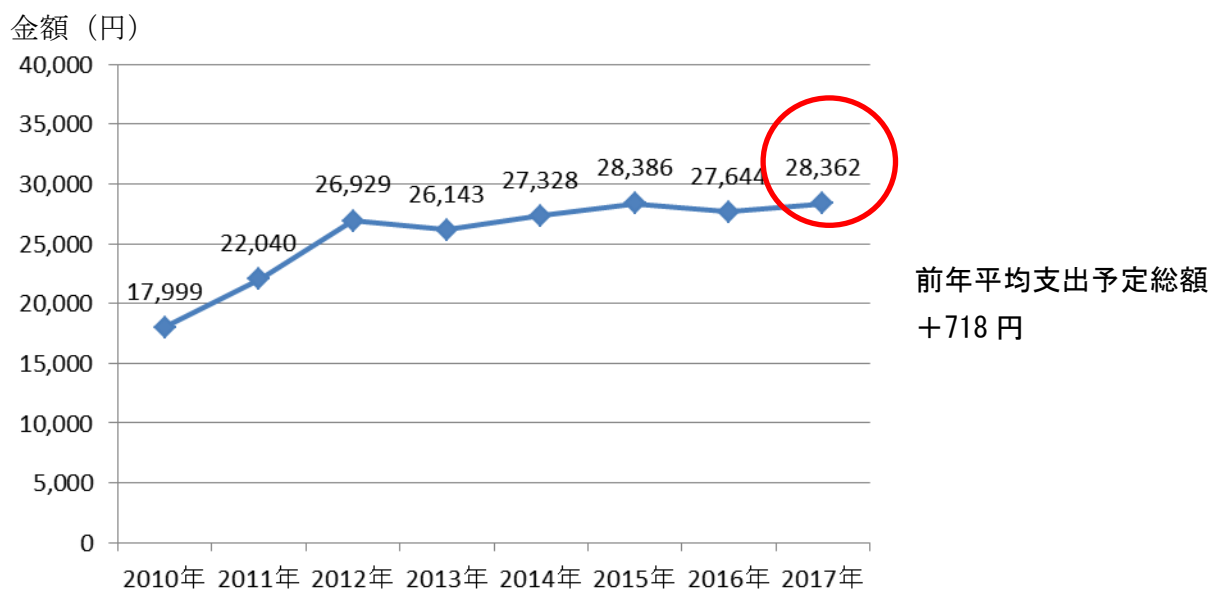
◆今冬あげるお年玉の総額は前年と比較すると

「減る」と回答した割合は5.0%と前年調査と比べ1.2%増加しました。



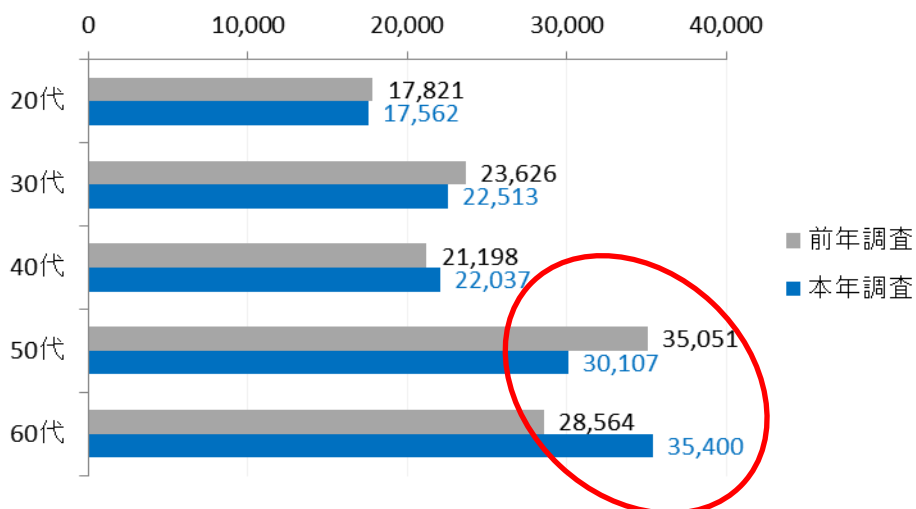
◆平均支出予定総額の推移

「28,362円」となり、前年調査より「718円」増加しました。



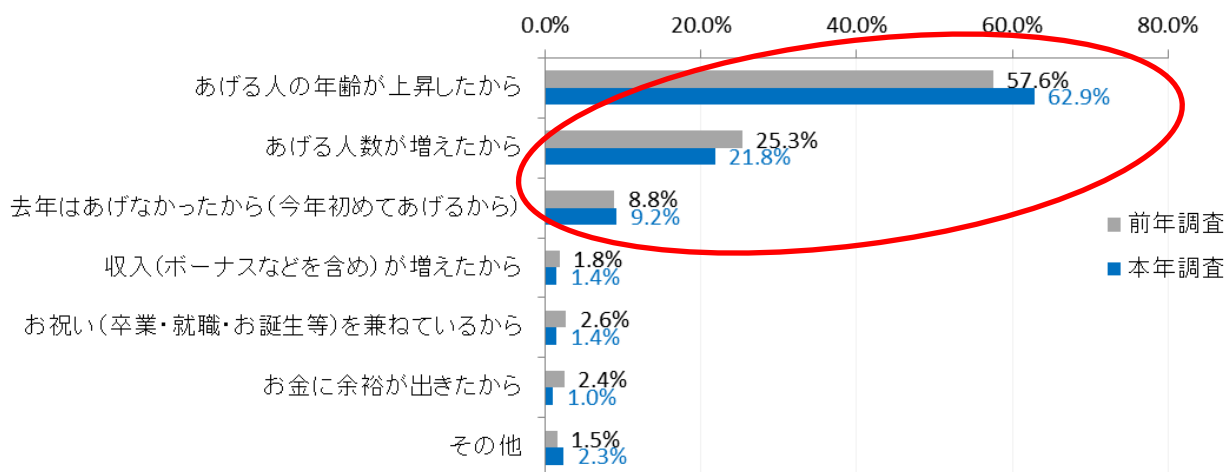
◆平均支出予定総額 年代別

年代別の平均支出予定総額では、50代が30,107円と前年比4,944円減少した一方で、60代は35,400円と前年比6,836円増加しました。



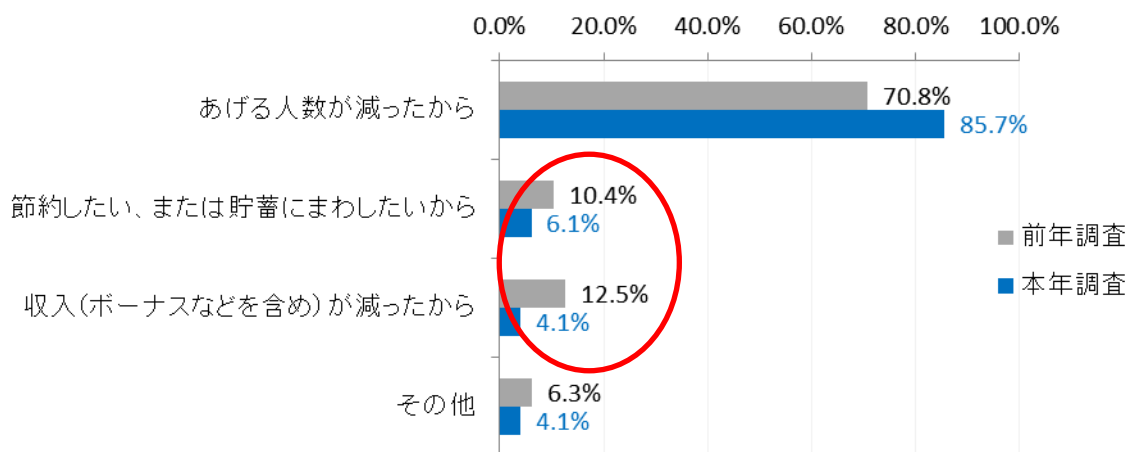
◆増える理由

「あげる人の年齢が上昇したから」が62.9%を占め、次いで「あげる人数が増えたから」21.8%、「去年はあげなかったから（今年初めてあげるから）」9.2%と金銭的な理由ではない回答が全体の93.9%を占めました。



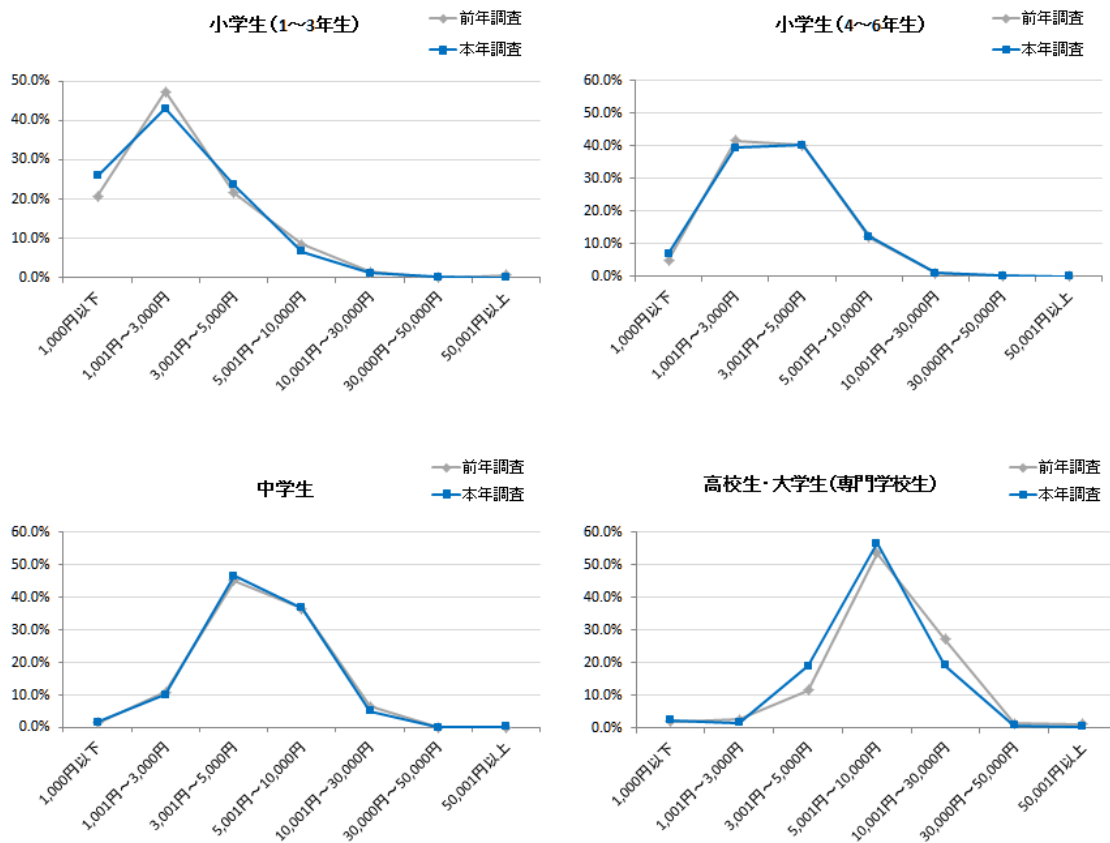
◆減る理由

前年調査と比べ、「あげる人数が減ったから」が14.9%増加した一方で、「節約したい、または貯蓄にまわしたいから」は4.3%減少、「収入(ボーナスなどを含め)が減ったから」は前年から8.4%減少しました。



◆あげる相手×金額

小学校低学年は 1,001～3,000 円、小学校高学年は 1,001～5,000 円、中学生は 3,001～5,000 円、高校生以上は 5,001～10,000 円が 40%以上を占めるボリュームゾーンであり、前年調査とほぼ同じ傾向となりました。



【住信 SBI ネット銀行について】

住信 SBI ネット銀行は、三井住友信託銀行と SBI ホールディングスを出資会社とするインターネット専門の銀行です。

平成 28 年 12 月 22 日時点で預金総残高(*1)が 4 兆円を突破いたしました。また、預金口座数(*2)は 274 万口座となっております。

当社は、お客さまに常に使っていただける「あなたのレギュラーバンク」を目指して、更なる利便性の向上と社会の発展に寄与する新しい価値の創造につとめてまいります。

(*1) 円普通預金、SBI ハイブリッド預金、円定期預金、円仕組預金、外貨普通預金、外貨定期預金、外貨仕組預金の合計。外貨預金については住信 SBI ネット銀行所定レートによる円換算後。

(*2) 代表口座の預金口座数。住信 SBI ネット銀行の顧客数に相当。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：住信 SBI ネット銀行 企画部 広報担当 03-6229-1247